

報道機関 各位

「親子で学ぶ環境教室 LEDと竹ランタン」が開催されました



6月30日(日)に、くらしの中の電気製品の省エネや太陽光発電のしくみを学び、日常生活とエネルギーとの関わり方を考えるイベントとして、「親子で学ぶ環境教室 LEDと竹ランタン」が開催されました(主催:東久留米市市民環境会議環境学習部会)。

【当日の様子】

イベントは2部構成で、小学4年生～6年生の親子10組が参加しました。

前半では、日常生活とエネルギーの関わり方について学ぶ講義が行われました。小学生には少し難しい内容もありましたが、講師からの質問に挙手をして答えるなど、真剣に講義を聞くこどもたちの様子が見受けられました。

後半では、参加者親子で小型の太陽光パネル・蓄電池・LEDを使った工作キ

ットを組み立て、市内の竹林公園の竹を再利用したLEDランタンを製作しました。作業工程が多く、細かい作業に苦戦している様子もありましたが、わからない部分をこども同士で教え合ったり、親子で確認し合いながら制作を進めていました。ランタンが完成し、ライトを点灯すると、こどもたちからは「やっとできた」「意外と簡単だった」といった感想が上がりました。

参加した保護者の方からも「こどもとたくさん話しながら作業できて楽しい」といった感想が得られ、親子でイベントを楽しんでいる様子が伺えました。

【東久留米市市民環境会議環境学習部会・菅谷氏のコメント】

今回の企画は環境学習部会の体験学習の場「みのり塾」に、今年度から新たに創出したプロジェクト「竹取りものづくり」の一環として温暖化・自然再生エネルギーも学べる、七夕に併せて竹林公園の竹を使った、親子で学ぶ環境教育「竹ランタンづくり」として開催しました。

竹ランタンづくりを終えた参加者から「環境のことも学べて工作も楽しく行うことができ良かった、作った竹ランタンは家で大事に使いたい」と言ってくれました。

これからも親子にもっと「水と緑に恵まれた湧水がある街・東久留米」を楽しんでもらえる環境学習の場を、企業・農家などの方々と協働して提供していきます。

■問い合わせ先

環境政策課長 浅海（あさうみ） 電話042・470・7753